

2025年度事業報告

(2025年4月1日から2026年3月31日)

収益面は、債券満期償還後に購入した別債券の利金が期末に発生したことなどから、前年度比で約20%、3.6百万円増加しました。

奨学金事業は、給付学生数が昨年度より12名増加したため、奨学金支給総額は3.2百万円増加しました。

国際交流支援事業は、採択数4件で前年度(1件)より増加したため、支援総額は0.8百万円増加しました。

1. 事業

【奨学金給付事業】

学業優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な兵庫県出身又は兵庫県内の学校に在学中の高校生、大学生及び大学院生に対して、奨学金を給付する。

[高校生]

- ・2025年4月指定10校を訪問し、当財団を改めて案内したうえで、第1学年を対象として奨学生を募集しました。
- ・10校より21名の推薦があり(前年度:8校より14名の推薦)、選考委員が審査の結果、20名を採択し、残り1名は1年間の限定給付となりました。
- ・前年度第1学年14名、第2学年12名は、各学校長より、著しい成績の降下や学習態度不良の報告はなく、其々第2学年、第3学年に進級しましたので給付を継続しました。なお、第2学年の1名は、低血圧症により2026年1月に通信教育制の定時制高校へ転校しましたが、諸般の事情を考慮して、支給は継続しています。
- ・高校生は合計47名に、一人当たり月額15,000円、総額8,460千円を給付しました。

[大学生/大学院生]

- ・2025年4月兵庫県立大学化学工学系学科を訪問し、当財団を改めて案内しました。
- ・指定3大学(大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学)より16名の新規推薦があり、選考委員が審査の結果、4年生3名、大学院第1学年10名、同第2学年3名の合計16名への支給を決定しました。
- ・大学院第1学年から第2学年に進級した5名と合わせ、合計21名に、一人あたり月額30,000円、総額7,560千円を給付しました。

[2025年度奨学金給実績と累計]

- ・奨学金給付実績は、高校47名、大学/大学院が21名で、総額16,020千円となりました。
- ・2000年事業開始からの累計では、延べ人数は、高校生933名、大学生/大学院生368名、給付総額は、298,430千円となりました。

【国際交流支援事業】

- ・申請が4件(前年度1件)あり、選考委員が審査の結果、4件が採択され、1,138千円を助成しました。

2. その他

特にありません。

以 上

事業報告書に係る附属明細書

特段記載する事項はありません。

以 上